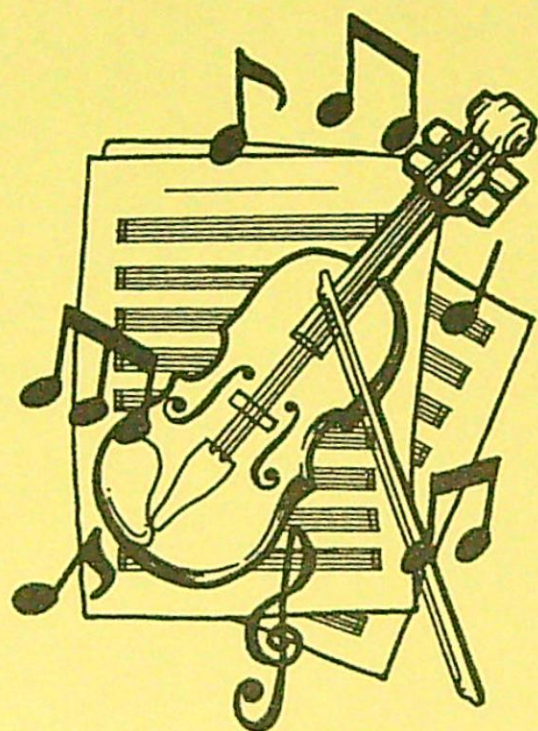


# 岡山県郷土文化財団クラシックコンサート



## 倉敷管弦楽団

久米南町文化センター

主 催 岡山県郷土文化財団・久米南町

後 援 久米南町文化協会・久米南町 PTA 連合会協議会





# Program

モーツァルト 歌劇「後宮よりの逃走」序曲

シューベルト 交響曲 第5番変ロ長調 D485

- 第1楽章 アレグロ 変ロ長調
- 第2楽章 アンダンテ・コン・モート 変ホ長調
- 第3楽章 アレグロ・モルト ト短調
- 第4楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ 変ロ長調

～休憩～

チャイコフスキー 組曲「くるみ割り人形」

- 1. 「小序曲」
- 2. 「行進曲」
- 3. 「こんべい糖の踊り」
- 4. 「ロシア舞曲（トレパーク）」
- 5. 「アラビアの踊り」
- 6. 「中国の踊り」
- 7. 「あし笛の踊り」
- 8. 「花のワルツ」

管弦楽：倉敷管弦楽団

指揮：菊池 東







## 【演奏曲目解説】

### § モーツァルト作曲 (1756～1791) 歌劇「後宮よりの逃走」序曲

この歌劇は、モーツァルトの手による初めての完成された歌劇といえるもので、舞台のトルコという東方世界を、巧みに生かした喜劇です。歌劇のあらすじは、トルコで捕らわれの身となったキリスト教徒の青年が、後宮の乙女をさらって逃亡しようとする筋を扱ったものです。序曲は開幕までに演奏されるもので、曲は軽快な主題ではじまり、シンバル・トライアングル・大太鼓の使用がトルコ風の響きをもっています。

### § シューベルト作曲 (1797～1828) 交響曲 第5番変ロ長調 D485

シューベルトは短い生涯に8曲の交響曲を作曲しています。その内でも高く評価されているのは、第4番以降の作品です。この曲は1816年に約1ヶ月で完成させており、野心的な傾向はまったくみられず、耳に心地よい響きを与えてくれる楽しい曲です。

### § チャイコフスキー作曲 (1840～1893) 組曲「くるみ割り人形」

「くるみ割り人形」はドイツの作家ホフマンが書いた童話を元に、チャイコフスキーが作曲した第3作目のバレエ音楽です。この組曲は、バレエ音楽として作曲の途中に、ロシア音楽協会から演奏会を急に依頼され、自作の曲を発表しなければならなくなったため、やむなく作曲中の「くるみ割り人形」から8曲を選び、「舞踊組曲」として発表することにしたものです。この組曲は、今日よく演奏会の曲目に取り上げられ、親しまれています。





